

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動できる部屋は、4 部屋あります。その他に、更衣やクールダウンができるスペースを設けてあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			10 名の定員に対して、8 名の職員を配置しています。人員配置基準より、4 名多く配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関以外に段差がないようにしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングや毎月の職員会議で、支援や業務の振り返りを行い、目標や課題を確認しながら、業務改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査を集約し、事業所の課題を整理したうえで、業務改善・サービス向上に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	いくつかの機関に外部評価を依頼しましたが、引き受けていただけませんでした。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間研修計画を作成し、研修機会を多く設けています。（内外の研修にそれぞれ月 1 回以上のペースで参加）
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談を行い、ニーズや課題を客観的に分析した上で、職員間で会議をもって、個別支援計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			年度途中から、5 領域の状態等についても把握できるよう、アセスメントシートをブラッシュアップしました。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月、活動会議を行い、個別活動・集団活動・創作活動・季節行事等の計画を立てています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			放デイの基本活動を組み合わせることを意識しながら、子ども達が意欲的に取り組めるような活動を設定しています。5 領域すべての領域について対応したプログラム・支援を構成しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・休日・長期休暇に応じて、活動目的や目標を定め、活動内容を検討しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別・小集団・集団、それぞれの組み合わせを考えながら計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティングで、前日の振り返りを行い、連絡事項・支援配置・送迎・活動内容・支援上の留意点等の確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ミーティングで、前日の振り返りを行い、連絡事項・支援配置・送迎・活動内容・支援上の留意点等の確認を行っています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、個別支援提供記録と個別活動記録、各種行事や活動の記録、ミーティングの記録をとり、支援の検証・改善に繋がっています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年毎にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しています。また、必要な際は、期間を短縮してモニタリングを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			毎日の活動の中に、生活動作獲得のための個別活動や創作活動、余暇の時間を組み込んでいます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者や児童発達支援管理責任者、作業療法士等が出席しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年間計画や行事予定の共有、連絡調整以外に、子どもの様子や課題等についても情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		主治医の意見書をもとに、それぞれの利用児に合わせた「てんかん発作時の対応マニュアル」を作成しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			2月中に、こども園及び児童発達支援事業所に、来年度から利用予定の児の様子の見学に行き、情報共有を行います。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			3月に入ったら、移行となる障害福祉サービス事業所に、これまでの当所での支援内容や様子、場面に応じた対応方法等の情報を提供する予定です。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				専門機関（こども療育センター）との連携を考えていたが、法人内1事業所という制約があり、今年度は、連携をとることができませんでした。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後、交流の在り方を検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			毎回、必ず参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳での情報共有だけでなく、必要に応じて電話連絡や相談支援（面談）を行っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ご家庭での困りごとに等の相談を受けた場合は、迅速に具体的なアドバイスを行っています。また、一昨年度は、対象の方にペアレント・トレーニングを実施しました。
保護者への説明	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に書面を用いながら、説明を行っています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて相談支援（面談）を行っています。また、連絡帳で相談があった場合や困り感が感じられるような場合は、電話または、書面等で助言を行っています。

責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会はありませんが、夏休み・冬休み中に、参観日を設定し、保護者同士の交流の場を設けました。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情対応体制について説明しています。また、事業所以外の相談窓口として第三者委員会を設置しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、お便りを発行し、HPの更新も行っています。HPについては、毎月15日前後の定期更新だけでなく、新しい情報等がある場合は、随時更新しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報については、同意書に定めた目的以外に使用しないよう厳正に管理しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障がいのある子どもには、特性に配慮した伝達方法を取り、保護者には分かりやすい説明を心掛けています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今年度は、中学生から成人の方まで、計19名の方にボランティアに来ていただき、交流を図りました。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に、各種マニュアルを策定していることをお伝えしています。また、職員間で定期的な読み合わせを行っています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災や地震を想定した防災訓練を、季節に一回のペース（年4回）で行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止・権利擁護研修（年2回）及び虐待防止チェック（年3回）を実施しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束等の適正化のための指針を整備し、全職員に周知しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書をもとに対応マニュアルを策定し、全職員でエビペン使用時の対応確認を行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットに該当するような事案があった場合は、全職員に周知し、再発防止に努めています。